



今年も夏期通水が始まりました

今年は、4月下旬から、最高気温30度を超える真夏日があり、平年よりも2日早く梅雨入りするなど、いつもよりも早く夏の気配を感じられる年になりました。

群馬用水では、これから暑くなって水田など農業に使う水が増えてくことに対応するため、毎年5月16日と6月1日の2段階で水路に流す水を大幅に増量させる夏期通水への切り替えを行っています。

夏期通水は、9月下旬までの期間になりますが、水路の水が一気に増える5月16日と6月1日は、今まで水路に沈んでいた落ち葉やゴミ、水草などが巻き上げられて、水路を詰まらせる原因となるなどとりわけ注意が必要な時期になります。また、群馬用水には、水位を一定にして水路からの水を取りやすくするチェックゲートがありますが、流量が大きく変わるので、このチェックゲート进行操作する必要があります。

そのため、群馬用水管理所では、増やした水がしっかり下流に届くように、毎年5月16日と6月1日は早朝より職員総出で水路内のゴミの除去とチェックゲートの操作、施設点検等を行っています。

今年は、5月16日は真夏日、6月1日は夏日となる暑い中での作業でしたが、例年通り、無事に夏期通水への切り替えを完了させることが出来ました。

群馬用水は、関係者のご協力を賜りながら、安定的で良質な用水の供給に努め、昨年8月には累計通水量が70億m³に到達しました。

これからも24時間、365日農業用水と水道用水が安定して通水できるよう努めて参りますので、引き続き皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



増やした水は勢いよく下流へ流れていきます。



増やした水が届いたのを確認してチェックゲート进行操作します。



水と一緒に流れてくるたくさんの落ち葉やゴミを一生懸命取り除きます。

